



北海道大学

研究データエコシステム 北海道コンソーシアム における取り組みについて

AXIES2025年次大会
RDM部会企画セッション
「研究データマネジメントの地域間連携」

棟朝 雅晴

北海道大学 副理事(情報・DX)
情報基盤センター長・教授

北海道大学における研究データ関連の取り組み

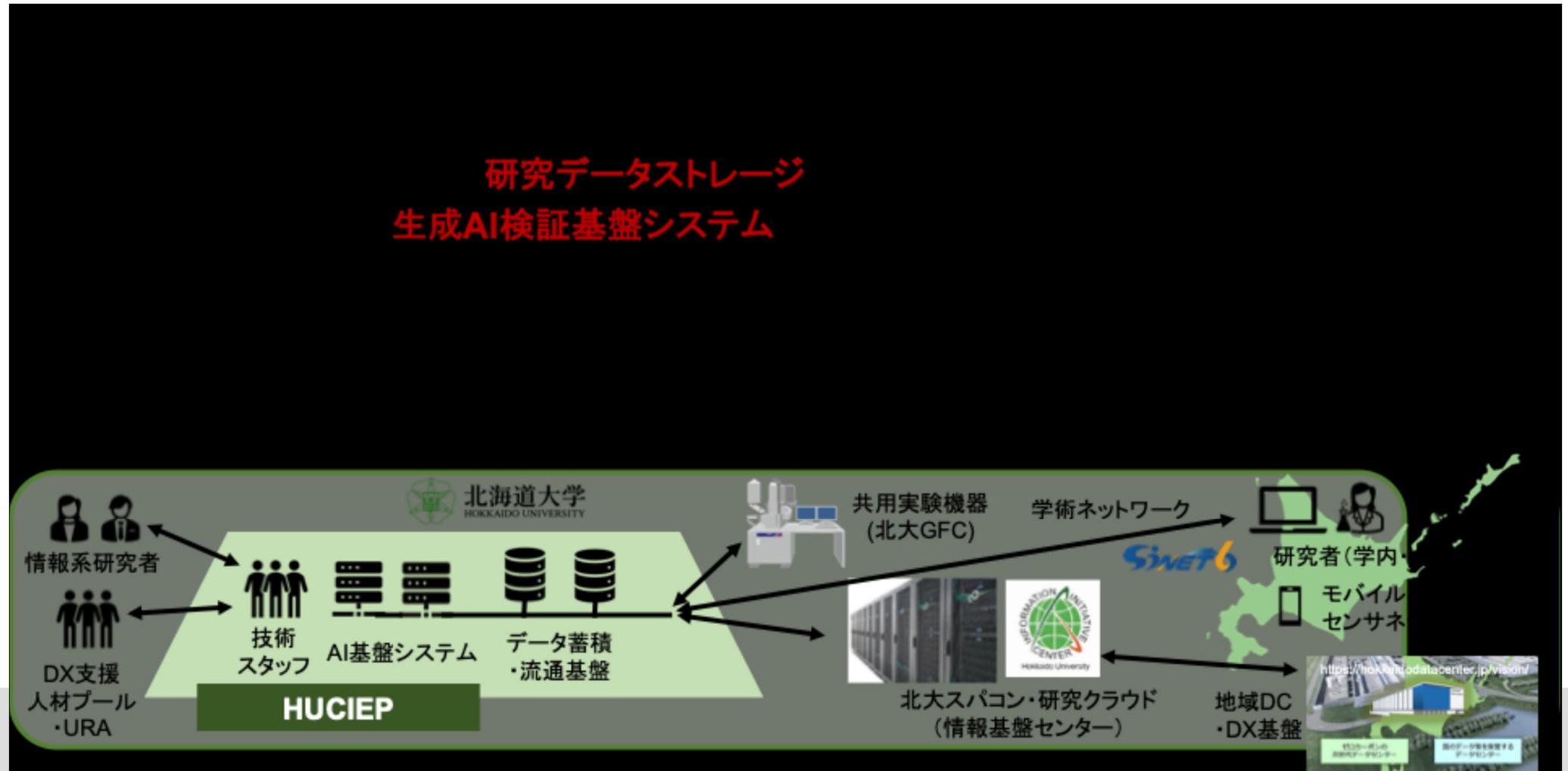
- 研究データポリシーの策定(R4.6.27)(+補足説明資料の配布)
- 研究データストレージ基盤・リポジトリの整備
 - 北大クラウドストレージ(全国共同利用)(2018~) → スパコンの利用者1名当たり1TBまで利用可能(+追加負担で拡張ストレージ利用可)
→ データを定期的に遠隔バックアップ(北見工大へ)
 - さらに、北大J-PEAKS予算で学内向けのセキュアな(ランサムウェア対策等を含む)研究データストレージ(約1.2PB)+プライベートAI基盤を整備
 - 機関リポジトリ(HUSCAP):独自システム(R6年度ストレージ拡充)
→ 研究データの公開に対応可能
- 研究データ管理基盤(学認RDM)への対応・普及活動
 - 認証基盤(SSO)と連携して利用可能
 - 学内教員への普及活動・利活用支援
→ パンフレットの配布など



北海道大学

研究データ基盤の整備(HUCIEP)

- 北大J-PEAKS事業の取組で研究データ基盤・DX基盤を整備
 - 全学の研究者向け研究データストレージ(一人当たり 100GB~)を提供
 - GakuNin RDMの拡張ストレージとして利用可能



北海道コンソーシアムの設立

- 研究データ管理スタートアップ支援事業のご支援をいただき設立
- 北海道ユニバーシティアライアンスの構成大学を核に立ち上げ
- さらに道内外の国公私立大学・研究機関に声がけを行っている

中核機関群：司令塔機能を果たし、各拠点大学と連携し相談等に対応する

NII

理化学研究所

東京大学

名古屋大学

大阪大学

- ✓迅速な相談、密な連携
- ✓現状課題の共有

各地域におけるコミュニティ：核となる拠点大学が支援機関としてリード

- 全国に、拠点大学を作りて中核機関群が支援し、各拠点大学が地域の多様な大学・研究機関を支援

- 潜在需要が想定される大学も含め、コミュニティを広げていく

2024年度開始予定：

- ・中国四国地区（広島大学）
- ・九州地区（九州大学）

2025年度開始予定：

- ・北海道地区（北海道大学）
- ・東北地区（東北大）



2023年度開始済：

- ・東海地区（名古屋大学）
- ・北陸地区（金沢大学）



2023年度活動（抜粋）

- ・コンソーシアム設立
- ・セミナー開催
- ・支援チームの派遣
 - *データポリシー策定
 - *セミナー講師派遣
 - *学内アンケートの実施・分析

学



(コンソーシアムHP)

<https://www.lib.hokudai.ac.jp/consortium/>

会員組織

【令和7年8月21日現在】

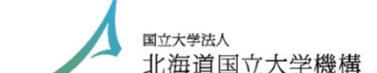
正会員



旭川医科大学
Asahikawa Medical University



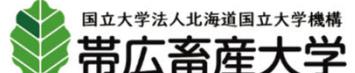
国立大学法人
北海道教育大学
HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION



国立大学法人
北海道国立大学機構
Hokkaido Higher Education and Research System



小樽商科大学
OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学



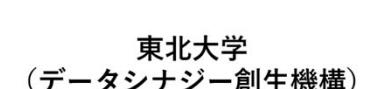
北見工業大学



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



国立大学法人
室蘭工業大学
MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY



東北大
(データシナジー創生機構)



北海道大学

参加条件・会費・手続きについて

■ 参加条件

正会員

北海道地区の国公私立大学、高等専門学校、公的研究機関
その他の学術研究機関



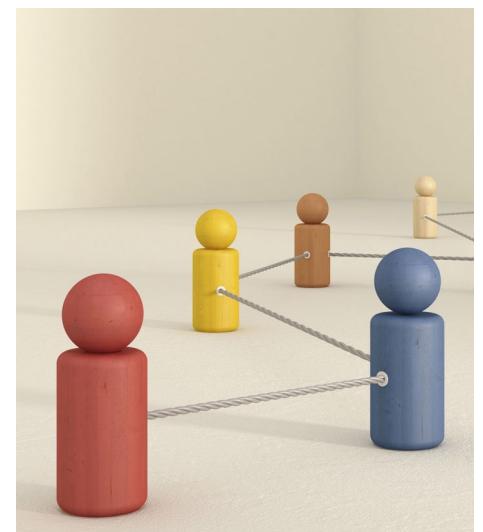
準会員

正会員の機関に属する部署や北海道地区以外の国公私立大学、高等専門学校、公的研究機関その他の学術研究機関及びこれらの機関に属する部署

■ 会費 : 無料(当面の間)

■ 参加手続き

入会申込書をコンソーシアム事務局へ提出ください
研究データエコシステム北海道コンソーシアム事務局
[rdm-hokkaido\(at\)ml.hokudai.ac.jp](mailto:rdm-hokkaido(at)ml.hokudai.ac.jp)



入会申込書は北海道コンソーシアムwebサイトからダウンロードできます。



北海道大学

主な活動内容

研究データ管理ポリシー・ガイドライン策定支援

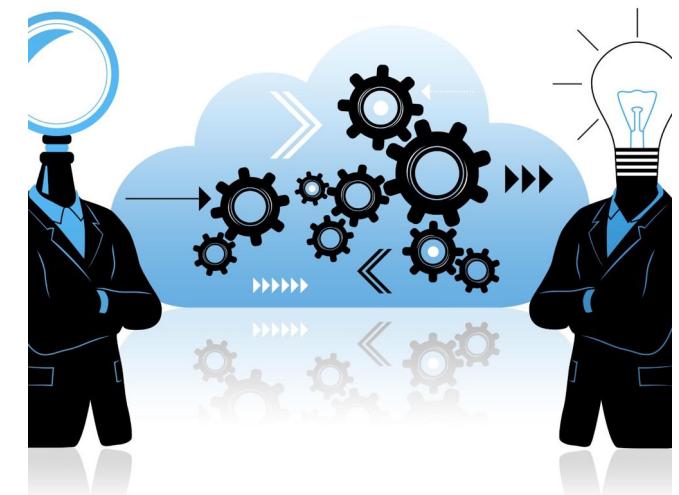
- 効果的な研究データ管理のために必要となる、各大学における研究データ管理ポリシーならびにガイドラインの策定を支援します。

研究データ管理システム構築支援

- 研究データストレージや学認RDMとの連携などの研究データ管理・システムを構築・運用するために必要となる技術について助言・支援します。

シンポジウム・セミナー等の開催

- 専門的な知識を共有する場として、シンポジウムやセミナーを開催し、研究データ管理に必要となる基盤システム、人材、教材などに関する知見を共有し、参加者のスキルアップを促します。



北海道コンソーシアム設立シンポジウム

- 2025年8月28日に開催
 - 会場: 北海道大学 鈴木章ホール
 - 参加者数: 184名(現地88名)
 - センターYouTubeチャンネルで公開予定
- Session #1: 研究データ管理
 - 研究データエコシステム事業の概要
 - GakuNin RDM の概要
 - 地球科学分野における事例
 - 北海道コンソーシアムのご案内
- Session #2: AI活用への展開
 - NIIにおける日本語LLM開発
 - AI for Scienceの研究開発事例
 - AIエージェント開発事例



北海道大学

勉強会・セミナーの開催

■ 第1回勉強会 「研究DXからAI for Scienceへ — 組織戦略としての研究データ管理と支援体制をどう築くか」

2025年11月14日(金) 13:40～15:40

北海道大学 創成科学研究棟 5階大会議室(対面のみ)

講師: 松浦 かんな 氏(横浜国立大学 研究推進機構/URA育成教育研究センター特任教員(助教)・URA)



対象者: コンソーシアム会員機関及び参加検討中の道内研究機関にて
研究推進・図書館業務・情報基盤整備等に従事する教職員

■ 第1回セミナー（開催予定）

2025年12月23日(火) 14:00～16:00 オンライン (zoom ウェビナー)

講演1: 研究データポリシーとは

船守 美穂 氏 (鹿児島大学)

講演2: 研究データポリシーの策定

岡山 将也 氏 (日立コンサルティング)

講演3: 研究データポリシーの運用

松原 茂樹 氏 (名古屋大学)



北海道大学

まとめと今後の課題

- 研究データエコシステム北海道コンソーシアムを立ち上げ、北海道地区を中心とした研究データ管理に関する各種の支援、勉強会、セミナー開催などの活動を開始
- 今後の課題：公立・私立大学、研究機関の参画、具体的な支援内容の拡充、共同研究等におけるデータ利活用（限定公開データの取り扱い）、生成AIなどAI技術との連携など



<https://www.lib.hokudai.ac.jp/consortium/>



北海道大学